

平成27年度行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	医療事故調査・支援センター運営費			担当部局	医政局			作成責任者
事業開始年度	平成27年度	事業終了 (予定)年度	終了予定なし	担当課室	総務課 医療安全推進室			室長：大坪 寛子
会計区分	一般会計			政策・施策名	I-3-2 医療安全確保対策の推進を図ること			
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-			関係する計画、 通知等	-			
主要政策・施策				主要経費	社会保障			
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度以 内)	医療事故が発生した医療機関において院内調査を行い、その調査報告を民間の第三者機関(医療事故調査・支援センター)が収集・分析し、再発防止のための普及啓発を行い、医療の安全を確保する。							
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	<ul style="list-style-type: none"> 対象となる医療事故が発生した場合、当該医療機関が行う調査への支援 医療機関が行った調査結果に係る整理・分析 医療事故の再発防止に関する普及啓発 医療機関又は遺族から調査の依頼があったものについて、医療事故調査・支援センターが調査を行い、その結果を医療機関及び遺族へ報告 医療事故に係る調査に携わる者への研修等の業務を行う。 							
実施方法	補助							
予算額・ 執行額 (単位:百万円)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	-	-	-	539		
		補正予算	-	-	-	-		
		前年度から繰越し	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-		
		予備費等	-	-	-	-		
	計	0	0	0	539	0		
	執行額	-	-	-	-	-		
執行率 (%)	-	-	-	-	-			
成果目標及び成 果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 27年度
	医療事故調査・支援セン ターが行った調査の報告書 を作成する。	医療事故調査・支援セン ターが行う調査の報告書作 成件数	成果実績	件	-	-	-	
			目標値	件	-	-	-	187
			達成度	%	-	-	-	
成果目標及び成 果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 27年度
	医療事故調査・支援セン ターが事業報告書・年報・ 医療安全情報を作成する。	事業報告書・年報・医療安 全情報の作成件数	成果実績	件	-	-	-	
			目標値	件	-	-	-	9
			達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活 動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込	
	対象となる医療事故の報告件数	活動実績	件	-	-	-		
		当初見込み	件	-	-	-	750	
活動指標及び活 動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込	
	医療事故調査に係る研修の実施件数	活動実績	件	-	-	-		
		当初見込み	件	-	-	-	7	
単位当たり コスト	算出根拠		単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込	
	予算執行額/対象となる医療事故の報告件数 ※執行見込額を研修にかかるものとそれ以外に切り分 けることが難しいため、単位あたりコストを見込むことは 困難	単位当たり コスト	円	-	-	-	-	
		計算式	X/Y	-	-	-	-	
単位当たり コスト	算出根拠		単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込	
	予算執行額/医療事故調査に係る研修の実施件数 ※執行見込額を研修にかかるものとそれ以外に切り分 けることが難しいため、単位あたりコストを見込むことは 困難	単位当たり コスト	円	-	-	-	-	
		計算式	X/Y	-	-	-	-	

平成27・28年度予算内訳 (単位：百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由
	医療施設運営費等補助金	539		
	計	539	0	

事業所管部局による点検・改善					
	項目		評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	医療事故調査結果を収集・分析し再発防止に繋げ、医療の安全を確保することを目的としており、国民や社会のニーズは高い。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	医療事故の原因究明及び再発防止を図るものであるため、国が実施すべき事業である。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	医療安全という政策目標のために医療法で定められた事業であり、優先度は高い。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-	-	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-	-	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		-	-	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		-	-	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	-	
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか		-	-	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		-	-	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	-	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-	-	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-	-	
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-		
	所管府省・部局名	事業番号	事業名		
	-	-	-		
	-	-	-		
点検・改善結果	点検結果	-			
	改善の方向性	-			
外部有識者の所見					
行政事業レビュー推進チームの所見					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-
平成25年度	-	平成26年度	-		

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

厚生労働省



【補助】

A. 医療事故調査・支援センター

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補
足する)
(単位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 においてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					